

平成 21 年 11 月 24 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 文彦  
電話番号 03-5730-2480

**ダンベル型(リボン型)E2F デコイオリゴの物質特許が成立 (日本)**  
**—環状の配列が対象—**

当社は、第二世代の新たなデコイであるダンベル型(リボン型) E2F デコイオリゴに対し、日本で物質特許が成立し、特許公報(特許第 4255123 号)が発行されたことをお知らせします。

なお本特許に先立ち、NF- $\kappa$ B と AP-1 それぞれのダンベル型(リボン型)デコイオリゴに関する物質特許シリーズも成立しており、当社は炎症に関連する主要な転写因子 3 種に対するダンベル型(リボン型)デコイオリゴの広範な権利を有するに至りました。

従って、NF- $\kappa$ B、AP-1 そして E2F に関連する疾患が、これらの新型デコイの対象として含まれます。より具体的には、例えば、炎症性疾患(慢性関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、乾癬など)、動脈瘤、アテローム性動脈硬化症、血管内治療後の再狭窄、癌の転移・浸潤などが挙げられます。

とりわけ経皮的血管形成術後の再狭窄の予防において、これらの新型デコイは従来型デコイより一層高い効果を示すことが動物実験において確認されており、臨床応用が期待されます。

なお本発明にかかるダンベル型(リボン型)デコイオリゴは、第一世代である二本鎖デコイの両端を閉じて環状分子構造とすることにより、生体内での安定性を向上させた新規デコイオリゴに関するものです。

具体的には、生体内安定性が向上する結果、静脈内投与など従来の二本鎖デコイでは困難だった投与経路も考えられ、より広範な疾患に対する新たな開発可能性が期待されます。

なお本新型デコイオリゴに関する発明は、日本以外にも台湾、韓国、オーストラリアにおいて登録となっており、米国、欧州、カナダ、中国にも出願中であります。

また本特許は 2022 年 4 月まで有効であり、さらにそれまでに各国で新薬承認が得られれば最大 5 年間の特許期間延長も期待できるため、将来の NF- $\kappa$ B、AP-1 あるいは E2F デコイオリゴ開発プロジェクトを支える基本特許の一つとして位置付けられます。

さらに当社は本特許以外にも、種々の次世代デコイオリゴについて順次特許出願しており、各種転写因子に対するデコイオリゴの臨床応用範囲拡大に向けて努力して参ります。

(注 ; 「ダンベル型」とは、分子構造が筋力トレーニングに用いるダンベル[鉄アレイ]の形状に、「リボン型」とは、蝶々結びしたリボンの形状に、それぞれ似ていることから名付けられました。)

以上